

関東ESD推進ネットワーク
第8回 地域フォーラム
「気候変動じぶんごと化プロジェクト」

●気候変動 × 再エネ × 福祉実践報告

2025年1月25日



銀座環境会議
GINZA Conference on Environment

非営利型一般社団法人 銀座環境会議について



- 松戸市に事務所を置く環境保全団体（2019年11月設立）
- 都市生活者のライフスタイル変革がミッション
- 主な活動：市民発電所の設置、省エネお助け隊、SDGsセミナー開催、若者育成など
- 松戸市脱炭素有識者会議委員、同気候市民会議総合司会（平野）

一般社団法人銀座環境会議

<https://www.ginzakankyokaigi.net/>

2019年11月設立。“都市生活者のライフスタイルを変革する”ことで持続可能な社会の実現を目指す市民団体。
松戸市、柏市ではそれぞれ初となる市民参加による発電所「そらびか発電所」を設置。
また、松戸市役所、東葛飾高校を含む様々な組織、個人を対象に40回以上SDGsセミナーを実施。
2021年度千葉日報地域きずな賞受賞。ちば環境学習応援団登録団体、地域ESD活動推進拠点登録団体。



代表理事 平野 将人

早稲田大学卒業後、ビール会社営業、ロンドン大学大学院留学、NGOでの東南アジアでの森林保全活動などを経て銀座環境会議設立。2030SDGsゲーム公認ファシリテーター。立教大学兼任講師。文京学院大学非常勤講師。

実践概要

福祉施設をメインターゲットとし、一般に公募する形式で実施した一般の参加者は9名、関係者含め計21名の参加となった

(一社) 銀座環境会議

柏市、松戸市の社会福祉施設、近隣住民
※場所：社会福祉法人彩会 生活介護事業所 ザザビー・ドウ

令和6年10月27日（日）
13:30～16:30

- ・気候変動：銚子地方気象台
- ・防災：柏市危機管理部防災安全課
- ・エネルギー教育：銀座環境会議
- ・福祉施設で義務化の「自然災害発生時のBCP」に活かせる再エネ（太陽光）を題材に

福祉施設をターゲットとした意図

当初は一般的に「太陽光発電を通じた防災」だった

- 銀座環境会議が福祉施設に市民発電所を設置している
※それ自体の意図は後述
- 「じぶんごと」とするには、対象を絞るのがよいと感じた
- BCP作成に苦慮している福祉施設が多いと聞いた
- 潜在的な親和性（福祉関係者の環境意識は高め）

松戸そらぴかプロジェクト



- 市民発電所とは
 - 1) 資金調達への市民の参加
 - 2) (可能ならば) 施工にも参加
 - 3) 停電時には近隣の充電ステーションに

- 松戸2ヶ所、柏2か所

- うち3カ所が福祉施設

- 今後も福祉施設に設置

みんなで
柏そらぴか発電所第1号を
作りました!



柏そらぴか発電所第1号

- 彩会ザザビードウの屋上にPPA設置
- クラウドファンディングを実施
※現金寄付も
- 電気代は東電より安い設定、余剰は
固定価格買取制度で売電
- 銀座が8年間所有、9年目に譲渡



柏そらぴか発電所第1号

発電所オーナー

OWNER

一般社団法人銀座環境会議

銀座環境会議は、都市住民の暮らしを変革し、持続可能で循環型の社会をつくる

松戸そらぴか発電所第2号

- 彩会ホームきらくの屋根に設置
- 蓄電池も設置し、完全自家消費
- 千葉県補助金を活用
- 彩会が費用負担、所有



福祉施設と連携する理由

- 安定性…一般の商店等は10～15年持たない場合が多い
- 経済性…寄付や助成金の対象となる
- 福祉性…電気はもはや基本的人権、“エネルギー貧困“は不条理
- 必要性…災害時等電気を必要とする人が多い

銀座環境会議 @社会福祉法人彩会 ザザビー・ドゥ

- 福祉施設をメインターゲットとし、一般に公募する形式で実施した
- 一般の参加者は9名、関係者含め計21名の参加となった

ESDfor2030 ESD学び合いプロジェクト

福祉施設における 気候変動リスクへの対応

～「自然災害発生時のBCP」を見据えて～

令和6年(2024年)4月より、介護施設・事業所はBCP(業務継続計画)の策定が義務付けられました。BCPの対象は「感染症」「自然災害」がありますが、今回は特に「自然災害」について、気候変動という地球規模の事象からその背景を大きくとらえ、災害リスクについて地域のハザードマップから学びます。また、太陽光発電設備の設置事例を共有し、気候変動対策と防災対策の両面に効果期待できる再生可能エネルギーについて学びます。

近隣の福祉施設の皆様同士の交流も出来ます。ご関心のある皆様の参加をお待ちしております。

※令和3年(2021年)から3年の経過措置期間

2024年10月27日(日) 13:30～16:30

@ザザビー・ドゥ 千葉県 柏市増尾2-22-2
【最寄駅】東武アーバンパークライン増尾駅徒歩10分

URLはコチラ

こんな方にオススメ

- ✓ 地球温暖化の影響や対策、地域の防災に関心のある福祉施設の管理者/ご担当者
- ✓ 社会福祉施設に関わる行政、事業者の方
- ✓ 「地球温暖化」「防災」「福祉」に関心のある方

太陽光発電設置のための資金調達方法もご案内します
補助金やクラウドファンディング活用初期費用ゼロも可能!

■プログラム

| | |
|---------------------------------------|---------------|
| 13:30～15:10 地域のハザードマップと気候変動から考える水害リスク | |
| ・生活介護事業所における太陽光発電設備の設置 (話題提供) | 社会福祉法人 彩会 |
| ・防災とハザードマップ (講義) | 柏市危機管理防災安全課 |
| ・気候変動と水害リスク (講義) | 親子地方気象台 |
| ・グループワーク | |
| 15:20～16:30 再生可能エネルギーによる気候変動リスクへの対応 | |
| ・再生可能エネルギーの活用、設置のための資金調達 (講義) | 一般社団法人 銀座環境会議 |
| ・グループワーク | |

終了後、希望者の方を対象に、屋上に設置している太陽光発電の視察を行います

**福祉施設における
気候変動リスクへの対応**
～「自然災害発生時のBCP」を見据えて～

■開催概要

| | |
|-----|---|
| 日時 | 2024年(令和6年)10月27日(日) 13:30～16:30 |
| 会場 | 社会福祉法人 彩会 ザザビー・ドゥ 【最寄駅】東武アーバンパークライン増尾駅(徒歩10分) |
| 定員 | 40名(要お申込み、先着順) |
| 対象 | 地球温暖化の影響や対策、地域の防災に関心のある福祉施設の方 社会福祉施設に関わる行政や事業者の方 |
| 参加費 | 無料 |
| 主催 | 一般社団法人 銀座環境会議 関東地方ESD活動支援センター |

■会場案内

ザザビー・ドゥ
千葉県柏市増尾2丁目22
【最寄駅】東武アーバンパークライン増尾駅徒歩10分

■お申込み方法

下記のホームページの「お申込みフォーム」よりお申込みください。
(スマホの方は、右のQRのリンク先よりお願いします)
https://kanto.esdcenter.jp/esd2030_kanto-r6_241027/

■お問合せ先

関東地方ESD活動支援センター 担当: 伊藤、松沼
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-53-67 コスモ青山B1F
TEL: 03-6427-7975 FAX: 03-6427-7976
kanto@kanto-esdcenter.jp <https://kanto.esdcenter.jp>

お申込みはコチラ

■会場案内

アクセスはコチラ

| 一般申込み | |
|-----------|----|
| 福祉関係 | 2名 |
| 環境関係 | 2名 |
| 他/地域 | 5名 |
| 関係者 | |
| ザザビー・ドゥ | 3名 |
| 講師 | 3名 |
| アドバイザー/拠点 | 4名 |
| 環境省関東事務所 | 2名 |

難しかった集客

以下に案内や、拡散お願い

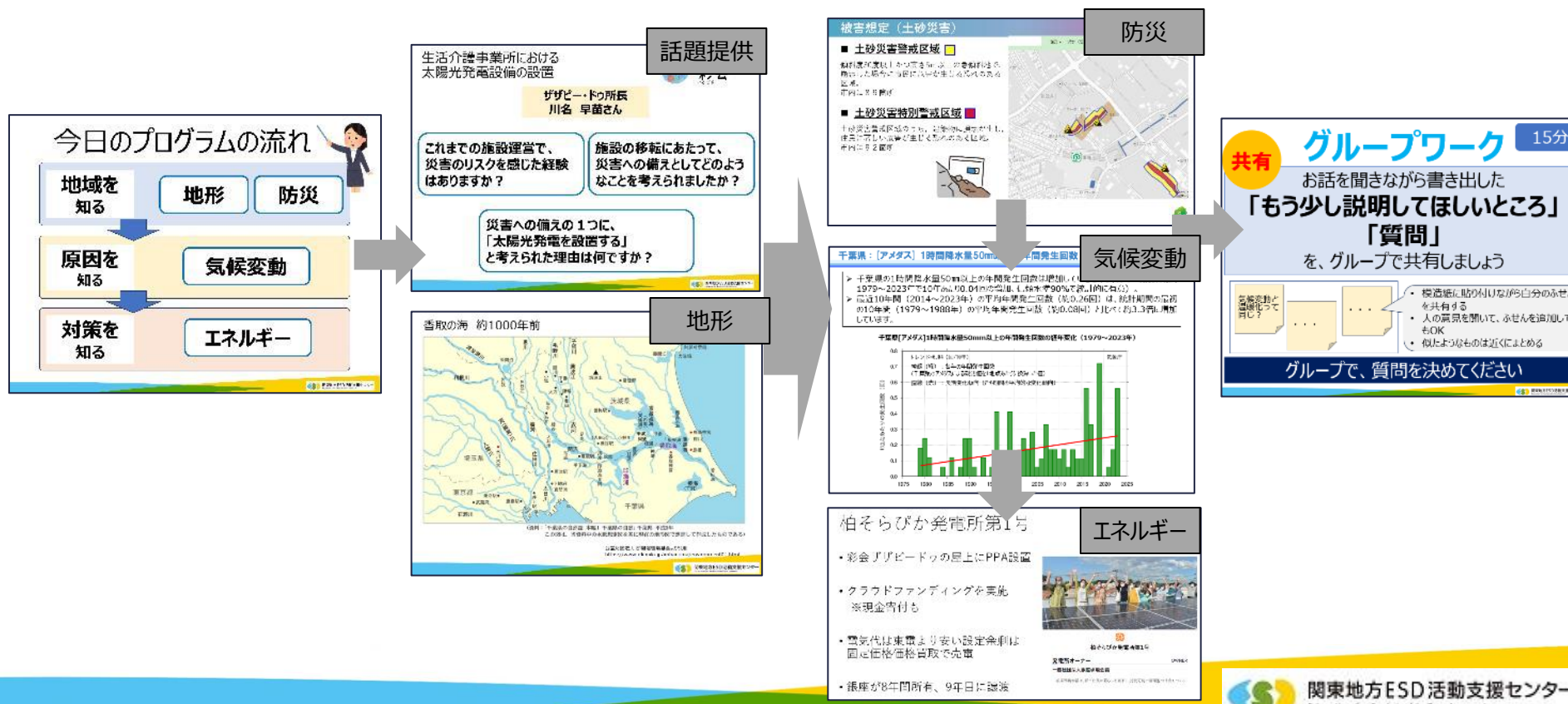
- 柏市社会福祉協議会
- 5つの社会福祉法人
- 松戸特養老人ホーム施設長会
- 柏市老人福祉施設連絡協議会
- 柏市議、葛飾区議、施設紹介業者×2、アマチュア落語家
- 彩会さんから、他の施設や柏障がい者をむすぶ会、地元町会等

→反応は芳しくなかった

じぶんごとでないから反応せず、反応しないからじぶんごとにならない？

銀座環境会議 @社会福祉法人彩会 ザザビー・ドウ

- これまでの「気候変動→地理→防災」の流れを変更し、①身近な話題で始めること、②気候変動と再エネのつながりを強めることを狙いに、「地形/防災→気候変動→再エネ」の順番にした
- 話題を絞り込むため、地形については外部講師は招へいせず、関東ESDCで行った
- 参加者と課題認識を共有するため、ザザビー・ドウ所長へのインタビューを最初に行った
- グループワークは、質問の洗い出しを2ターン実施した



銀座環境会議として力を入れた部分

- 防災機能（BCP作成も踏まえて）
- 多様な資金調達方法（補助金・助成金、クラウドファンディング、第3者所有等々）
- 太陽光発電についての誤解の解消

銀座環境会議 @社会福祉法人彩会 ザザビー・ドゥ グループワークで出された質問

- 防災では、地域ならではの意見や、具体的な取り組みや数値に関する質問が挙げられた
- 再エネでは、「実際に太陽光を設置するには」につながる質問が多く挙げられた

気象/気候

気象情報は、行政向けと一般向けと分かれているか

線状降水帯は、昔からあった現象？気候変動により最近発生した現象？

気候変動の目標(二酸化炭素の削減目標)が定められていると思うが、一人一人の行動目標と結びつけるには？

防災

避難所について、近隣住民に対して何割くらいが入れるのか

授乳ケープが備蓄されているが、乳児が栄養補給できるものもあるとよい

柏市に地域別防災カルテは充実しているが、どのくらい地域の方に活用されているのか？

パンザマスト(防災無線)が聞こえにくい

備蓄倉庫1ヶ所で、何人、何日分？

再エネ

自己所有、PPAに活用できる補助金はあるか

太陽光発電の強度は(地震や強風など)

蓄電池の特徴は。活用できる補助金はあるか

みんな電力のEPSカードは地域の仕組みなのか

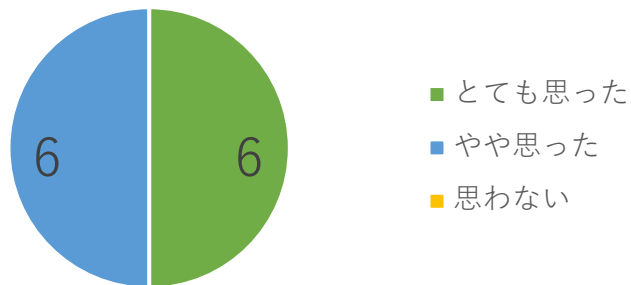
銀座環境会議 @社会福祉法人彩会 ザザビー・ドゥ 参加者へのアンケート

- 回答数は少ないが、100%が「とても良かった/良かった」、半数が実際に行動しようと思うと回答
- 自由回答や終了後の様子からも、行動に向けて詳しいことを知りたいという意思がうかがえた

プログラムの評価

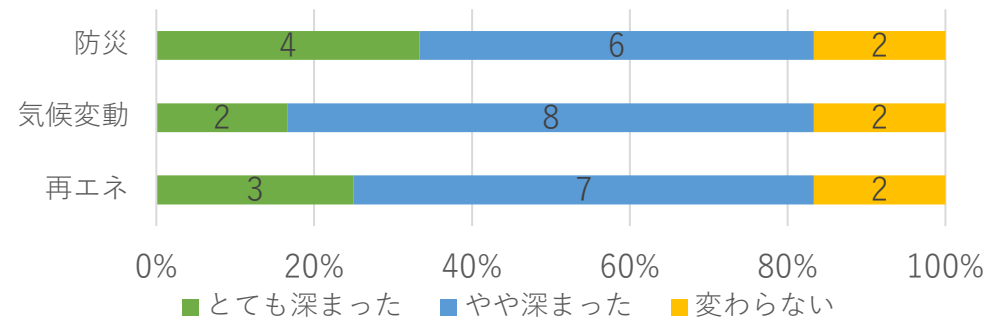


気候変動に対する行動をしようと思うか



プログラム前後の理解の深まり

n=12



自由コメントから抜粋

- 柏市が予想よりも被害が大きいことがわかった
- 行政・法令・税なども詳しい地域のコーディネーターの存在は重要
- 補助金詳しく知りたい
- こういう講座はもっと多くの方にしていただければ有難い
- 個々の説明が少ない。視点をしぼり実施すればもっと理解が深まる

関係者フィードバック

講義のつながり

- メインのテーマが防災なのか再生エネルギーなのかブレている印象
話題を絞るか、防災や気象と再生可能エネルギーのお話がもう少し強く結びつくような流れがあるとよい
- 前後の内容との関連性が分かりにくかった
事前にお互いの資料を見せ合って、補いあう形にすると良い
- ザザビー・ドゥの話が最初にあったので、再エネへのつながりがリアルになった

グループワーク /進め方

- 個人だと質問しづらい方もいるので、グループワークとすることで疑問点が解消しやすかった
- 特に高齢の方が多いたときは、どこをやっているか見失ってしまわないような配慮が必要（ページ番号や、めくりのタイミングなどガイドを入れるなど）

再エネ

- お金の話は（行政の発表だと触れられないこともあるが）、一般参加者、特に事業者にはかなり興味深く有益な具体的情報だった。情報だけでなく熱が伝わったのも良かった

福祉での実施

- 福祉は防災への興味関心は高い。福祉のネットワークで呼びかけなど、対象者をしばって集めれば比較的早くからの行動変容にもつながるのでは

もっと“じぶんごと”にするなら…

- もっと施設の方の声を聞けばよかったかも？
 - 例) 災害時どんなことが不安か
 - 例) 停電時どんな設備が止まると特に困るか
 - 例) 過去に検討したことがあるか
- もっと“地域に開いた施設”の部分強調してもよかったかも？
- もっと資金シミュレーションなどあってもよかったかも？
- もっと対象を絞ってもよかったかも？

当初の狙いと、その成果

- 当初の狙いは、参加者から太陽光の問い合わせがあること
- 複数の問い合わせがあり、補助金に関するアドバイスをした方もいれば、屋根に太陽光を設置したいとことで現地を訪問し、具体的な話になっているところもある
- 参加者の数は多くはなかったが、具体的な動きにつながったことは満足している

今後、やっていきたいこと

- 今回縁のあった福祉施設で確実に成果を上げる
- そうした実績を通じて福祉関係者とのネットワークを拡げる
- 施設長会でSDGs研修などの機会があるので、紹介していく
- 省エネ診断による光熱費削減・補助金活用の文脈からアプローチする
- より“エネルギー貧困”に注力する

省エネお助け隊（経産省補助事業）



- 中小企業の省エネ、脱炭素を応援
- 中小企業の事業所を専門家が診断し、省エネ策をアドバイス
- 費用は国が9割補助
- 補助金活用も支援（千葉県業務用設備等脱炭素化促進事業補助金、松戸市事業用省エネルギー設備等導入促進事業費等の補助金の申請要件）

